令和７年度シラバス　　（　　言語文化　　）

教科	国語	単位数	2	学科・学年・組	工業技術科　２年　Ａ・Ｂ　組
使用教科書	新編　言語文化　（大修館）				
副 教 材 等	論理エンジン「論理の習得」OS1　（水王舎）				

1　学習の到達目標

国語を的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。それとともに、思考力を伸ばして心情を豊かにし、社会に出てからも一人の自立した社会人として生きていける力を養う。

2　科目の特色

・教科書の読み取りを通して言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができるようになる。
・感想文や作文などアウトプットの機会を多く設け、自分の思いや気持ちをしっかりと他者に伝えられるようになる。

3　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	・『季節の言葉と出会う』 ・『古文への招待』 ・『児のそら寝』 ・『高名の木登り』 ・『公世の二位のせうとに』 ・『春のうた/夏のうた/秋のうた/冬のうた』	・日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張を理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 ・詩歌の形式や表現の特徴について、筆者の主張をとらえる。
二学期	・『訓読のきまり/格言/再読文字』 ・『守株/蛇足』 ・『羅生門』 ・『夢十夜』	・漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・現代にもつながる、漢文で語られている教訓の意義を理解する。 ・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・作品の状況設定を的確にとらえ、叙述から人物の心情や象徴性を読み取る。
三学期	・『伊勢物語　芥川/筒井筒』 ・『論語　学問のすすめ/社会に生きる』	・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。 ・『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解する。

4　課題、提出物等

・授業プリントを活用し、知識の補完をする。
・ノート・補助教材等を定期的に回収する。
・作文等の課題を課す。

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしていること。	特に「書くこと」、「読むこと」の領域において、論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようにしていること。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに言葉を効果的に使おうとしていること。

令和７年度シラバス（地理総合）

教科	地理歴史	単位数	２	学科・学年・組	工業技術科　２年Ａ・Ｂ組
使用教科書	地理総合（実教出版）　／　基本地図帳（二宮書院）				
副教材等	（なし）				

１　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を身に付ける。

２　科目の特色

・自分がすでにもっている知識や、身の回りの事例を取り上げながら、地理的な事象についてそれらがどのようなしくみで成り立っているのか、理解する。
・地図帳や地球儀の活用を重視し、多面的な資料を基に、学習する国や地域について、多面的に理解する。
・さまざまな文化に触れ、多民族・多文化の中で人類がともに生きていくために必要なことについて考え、表現する。

３　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	・世界地図の種類とそれぞれの特徴、緯度と経度を理解する。 ・世界地形とその成り立ちを理解する。 ・世界の気候を理解する。	・教科書や地図帳を用いて、学習内容の理解を深める。 ・板書を確実にノートにとり、復習に活かせるようにする。 ・積極的に授業に参加し、授業の中心となる問いについて深く考察し、それを表現する。 ・諸資料や現物教材、映像などに触れる。
二学期	・地形や気候区分が人類の生活様式に与えた影響について考察する。 ・世界の民族の生活様式を知る。	・教科書や地図帳を用いて、学習内容の理解を深める。 ・板書をノートにとり、復習に活かせるようにする。 ・積極的に授業に参加し、授業の中心となる問いについて深く考察し、それを表現する。 ・諸資料や現物教材、映像などに触れる。
三学期	・世界のそれぞれの民族の生活様式を知る。 ・世界にまたがる諸問題についての理解を深める。	・教科書や地図帳を用いて、学習内容の理解を深める。 ・板書をノートにとり、復習に活かせるようにする。 ・積極的に授業に参加し、授業の中心となる問いについて深く考察し、それを表現する。 ・諸資料や現物教材、映像などに触れる。

４　課題、提出物等

・定期考査時に毎回授業ノートを提出する。

５　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性・地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて考察・構想したことを効果的に説明したり議論できる。	地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を身につけ、多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の国土に対する愛情や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度が身についている。

シラバス　　（　数　学　Ⅰ　）

教　科	数学	単位数	2	学科・学年	工業技術科・２年A・B組
使用教科書	改訂版　新高校の数学Ⅰ　（数研出版）				
副 教 材 等	パラレルノート数学Ⅰ				

1　学習の到達目標

高等学校では多くの公式・定理等を学びます。それらの意義を理解し、また応用できるよう学習し、専門科の実験・実習等の数的処理の基礎を定着させます。

2　科目の特色

基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	二次関数	二次関数とそのグラフについて理解し，二次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識する。
二学期	二次関数 集合と命題	二次関数の値の変化について，グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすることを通して，事象の考察に活用できるようにする。 集合と命題に関する基本的な概念意義を理解できるようにする。
三学期	データの分析	統計の基本的な考えを理解するとともに，それを用いてデータを整理・分析し，傾向を把握できるようにする。

4　課題、提出物等

・毎授業ごとに授業プリントを提出します。
・定期テスト毎に問題集を提出します。

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

以上について総合的に評価します。

令和７年度シラバス　（　物理基礎　）

教　　科	理科	単位数	２	学科・学年・組	工業技術科　２年Ａ・Ｂ組
使用教科書	実教出版　高校物理基礎				
副 教 材 等	（なし）				

1　学習の到達目標

物理の基本的な知識を理解し、実験・観察などを通して、物理に対する興味関心を高めるとともに、物理的な見方や考え方を養う。

2　科目の特色

実験や観察などの体験を通して、物理のおもしろさを実感することができる授業である。

3　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	１章 物体の運動	・物体の運動が速度、時間の観点からどのように表されるのかを理解する。 ・加速度運動について、数式やグラフを用いて表す方法を理解する。 ・等加速度運動における「時間と変位」「時間と速度」の関係を理解する。 ・自由落下運動や鉛直投げ下ろし運動、鉛直投げ上げ運動の「時間」「速度」「変位」の関係式を理解する。 ・固体には弾性があり、一般にはフックの法則に従うことを理解する。 ・力の合成、分解、つりあいなど、力の性質を理解する。 ・圧力と浮力について理解する。 ・力と加速度の関係を理解し，運動の法則を理解する。 ・運動方程式を立てて，物体の運動のようすを調べる。
二学期	２章 エネルギー ３章 波	・エネルギーと仕事の基礎概念を理解する。 ・仕事と仕事率について理解する。 ・運動エネルギーと位置エネルギーについて理解し、一定の条件のもとで力学的エネルギーが保存されることを理解する。 ・巨視的に見た熱の正体、微視的に見た熱の正体を理解する。 ・物質の三態や温度について理解する。 ・熱容量、比熱、熱機関、不可逆現象について理解する。 ・波とは媒質の振動が次々と時間をかけて伝わっていく現象であることを理解する。 ・音の伝わり方は、波の性質を示すことを理解する。
三学期	４章 電気 ５章 物理と社会	・電流と電気量について理解する。 ・オームの法則や電気抵抗の直列接続、並列接続について理解する。 ・金属の抵抗率、電力、電力量、ジュールの法則について理解する。 ・直流と交流の違いを理解する。 ・電磁誘導と、送電・変圧について理解する。 ・エネルギーの変換やエネルギー保存の法則について理解する。 ・物質の基本的な構成単位である元素や原子核について理解する。 ・放射能・放射線について理解する。 ・物理学と科学技術の関係を理解する。 ・物理学と環境・防災の関係を理解する。

4　課題、提出物等

・プリントをしっかり整理して、授業のポイントを理解し、定期的に提出する。
・指示された課題は期限内に提出する。

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
中学校の理科の基礎をもとに、日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現することができる。	物体の運動と様々なエネルギーの関心を高め、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

令和7年度　　シラバス　　**体育**

教　　科	保健体育	単位数	2	学科・学年・組	工業技術科　2　年　　A・B　組
使用教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	新高等保健体育ノート				

1　学習の到達目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2　科目の特徴

・運動の楽しさや喜びを深く味わい自ら進んで運動できるようにするために、体を動かすことの楽しさや必要性、各種の運動の特性などについて解説する。
・自己の能力や運動の特性に応じた課題を見つけ、解決していくことができるように、各種目におけるスキルテスト表などを作成し課題解決にむけた練習方法を例示する。また、口頭質問による実態の把握に努める。
・生涯を通じて継続的な運動ができるように、身体活動の意義や、運動の特性、各種目のルール及び審判法などについて触れる。特に審判法についてはできるだけ全員が経験できるよう配慮する。

3　学習計画

月	学習内容	主な学習活動（指導内容）
4	体つくり運動	○オリエンテーション ○体ほぐしの運動 ○体力を高める運動
5	陸上競技	○走、投、跳 ・基本技能習得
6	体育理論	○スポーツにおける技術と戦術・戦略　○スポーツにおける技能と体力
6 7 9	【選択】卓球・バドミントン	○個人技能の基本 ・ルール理解　・基本ストローク練習 ・フットワークの基本 ○シングルスゲーム ・各種ストロークを使う ・フットワークの工夫 ○ダブルスゲーム ・ルール理解　・簡易ゲーム ○スキルテスト ○球技大会
10	体育理論	○技能の上達過程と練習の考え方　○効果的な動きのメカニズム
10 11 12	バスケットボール	○個人技能の基本 ・パス、ドリブル、シュートの基本練習 ○集団技能の基本 ・ルールとフォーメーションの理解 ・練習ゲームにおける実践 ○ゲーム中心 ・速攻を取り入れた攻防 ・ディフェンスの工夫 ○スキルテスト
12	体育理論	○体力トレーニング
1 2	陸上競技 （長距離走）	○ウォーキング（3．6km） ○ペース走 ○時間走＜30分間＞ ○タイム測定（男子4．5km、女子3．6km）
2 3	体育理論	○運動やスポーツでの危険予知と安全確保 まとめ

4　課題、提出物

・各種目のスキルテスト　・長距離走の完走　　・学習プリント、ノート

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。 自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うと共に、運動の技能を高めている。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。 また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方ができる。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとする。 また、公正、協力、責任などの態度を身に付けると共に、健康・安全に留意して運動しようとしている。

令和7年度　　シラバス　　**保健**

教　　科	保健体育	単位数	1	学科・学年・組	工業技術科　2　年　　A　・　B　組
使用教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	新高等保健体育ノート（大修館書店）				

1　学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し，改善していくための資質・能力を育てる。

2　科目の特徴

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。
(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3　学習計画

月	単元名	学習内容	主な学習活動（指導内容）
4 5 6 7	生涯を通じる健康	保健の授業について ①思春期と健康 ②性意識の変化と性行動の選択 ③結婚生活と健康 ④妊娠・出産と健康 ⑤家族計画 ⑥加齢と健康 ⑦高齢社会に対応した取り組み ☆ノートまとめ ※1学期期末考査 ※1学期期末考査の復習	保健学習の意味と学習の見通し ●思春期における心身の発達や性的成熟と思春期に起こりやすい健康課題について理解する。 ●自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解する。 ●性行動の選択には性情報への適切な対処が必要であることを理解する。 ●結婚生活と健康との関係について理解と結婚生活における夫婦関係，親子関係による健康への影響について理解する。 ●受精，妊娠，出産の過程と，それに伴う健康課題について理解する。 ●妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解する。 ●家族計画の意義について理解し、人工妊娠中絶が心身へ与える影響について理解する。 ●加齢による心身の変化や，高齢期の健康課題について理解し、若年期の生活習慣が中高年期の健康に影響することを理解する。 ●高齢社会における健康課題について理解し、高齢者の暮らしや健康を支えるために必要な社会の取り組みについて理解する。 ・授業評価を実施する。 1学期末考査の復習
9 10 11	生涯を通じる健康 健康を支える環境づくり	⑧働くことと健康 ⑨労働災害の防止 ⑩働く人の健康づくり ①大気汚染と健康 ②水質汚濁・土壌汚染と健康 ③健康被害を防ぐための環境対策 ④環境衛生に関わる活動 ⑤食品の安全性と健康 ☆ノートまとめ ※2学期期末考査 ☆2学期期末考査の復習	●働くことの意義と働き方の多様化について理解する。 ●働く人における健康問題について理解する。 ●労働環境の変化に伴い，労働災害の要因も変化していることを理解する。 ●労働災害を防止するための様々な取り組みについて理解する。 ●職場での心身両面にわたる積極的な健康づくり活動について理解する。 ●働く人の健康には余暇の活用など生活の質の向上も重要であることを理解する。 ●大気汚染による健康への影響について理解する。 ●地球規模で起きている大気環境の問題について理解する。 ●水質汚濁による健康への影響について理解する。 ●土壌汚染による健康への影響について理解する。 ●環境汚染による健康への影響を防ぐために行われている対策について理解する。 ●産業廃棄物の処理や新たな環境汚染の課題について理解する。 ●安全な水の確保のために必要な上下水道の整備の現状と課題について理解する。 ●生活環境を保全するためのごみ処理の現状と，今後の課題について理解する。 ●食品の安全性が損なわれると健康被害が生じる可能性があることを理解する。 ●人々の健康を支えるためには食品の安全性の確保が重要であることを理解する。 ・授業評価を実施する。 2学期期末考査の復習
12 1 2 3	健康を支える環境づくり	⑥食品の安全性を確保する取り組み ⑦保健制度とその活用 ⑧医療制度とその活用 ⑨医薬品の制度とその活用 ⑩様々な保健活動や対策 ⑪誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり ☆ノートまとめ ※3学期期末考査 ☆3学期期末考査の復習	●食品の安全性を確保するための行政や生産・製造者の役割と食品による健康被害を防ぐために私たち消費者が果たす役割について理解する。 ●保健行政の役割について理解し、健康の保持・増進には保健サービスの適切な活用が必要であることを理解する。 ●医療保険の仕組みについて理解し、医療サービスの適切な活用方法について理解する。 ●医薬品には承認制度や販売に関する規制が設けられていることについて理解し、正しい使用方法を理解する。 ●日本や世界では健康課題に対応した保健活動や対策、国際機関や民間機関などにより行われている様々な保健活動や対策について理解する。 ●自他の健康の保持・増進には健康を支える環境づくりが重要であることと、健康を支える環境づくりへの積極的な参加が自他の健康につながることを理解する。 ・授業評価を実施する。 ☆3学期期末考査の復習

4　課題、提出物

・学習プリントの課題　　・新高等保健体育ノートの各考査時の提出

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯の各段階における健康の課題や自己管理の重要性，保健・医療機関の活用について，各段階における健康課題や保健・医療機関の活用などについて理解し，課題解決に役立つ知識を身に付けている。	生涯の各段階における健康の課 題や自己管理の重要性，保健・医療機関の活用について，自分の学習や経験をもとにしたり，資料や仲間の意見や考えなどを参考にしたりして，課題の設定や解決の方法を考え，選択すべき行動を判断している。	生涯の各段階における健健康の課題に応じた自己の健康管理の必要性及び保健医療機関の活用について,関心をもち，仲間と協力し資料を集めたり，意見を交換したり，課題について調べたりして，意欲的に学習しようとしている。

岐阜工業高等学校（定時制課程）

令和７年度シラバス　　（　英語コミュニケーションⅠ　）

教　科	外国語(英語)	単位数	２	学科・学年・組	工業技術科・２年・A、B組
使用教科書	COMET English Communication Ⅰ　（数研出版）				
副 教 材 等	英単語 VALUE 1000　（数研出版）				

1　学習の到達目標

・英語の基本的な文法、単語、表現を、反復確認を通して覚える。
・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。
・本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す/書くことができる。

2　科目の特色

・基礎基本から英語を学ぶことによって、語彙力や文法力を身に付け、核となる情報を読み取る力とコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成する。

3　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	○Lesson 6 Convenience Stores: Keys to Their Success ・that-節 ○Lesson 7 High School Aquarium ・過去形	・教科書に沿って文法、会話、単語を覚える。 ・コンビニが商品を売るための工夫について，ハルカが研究発表を行った内容について考察する。 ・高校で水族館を運営する水族館部の生徒へのインタビューの内容について考察する。 ・英単語力強化プログラム（単語テスト）
二学期	○Lesson 8 Smart Farming ・受け身 ○Lesson 9 Food Waste ・比較	・教科書に沿って文法、会話、単語を覚える。 ・スマート農業に関するウェブサイトの記事の内容について考察する。 ・食品廃棄の問題について，ダイキが学校新聞に記事を書いた内容について考察する。 ・英単語力強化プログラム（単語テスト）
三学期	○Lesson 10 William and His Windmill ・関係代名詞（who / which / that） ○まとめ	・教科書に沿って文法、会話、単語を覚える。 ・電気もない貧しいアフリカの農村で，独学で発電のための風車を作った少年ウィリアム・カムクワンバの実話の内容について考察する。 ・英単語力強化プログラム（単語テスト）

4　課題、提出物等

・授業に積極的な姿勢で参加する。
・ハンドアウト（プリント）を活用して、語彙力や文法力を高める。
・ハンドアウト（プリント）にきちんと取り組み、整理して定期考査ごとに提出する。
・パフォーマンステストの準備にしっかり取り組み、実施し合格を目指す。
・英単語力強化プログラムに積極的に取り組み、単語テスト合格を目指す。

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 文法事項を理解している。 2. 文法事項の用法に関する理解をもとに，書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 3. 学習した語彙や言語材料,TOOL BOXの語句を用いて伝えたり，相手からの質問に答える技能を身につけている。	1. 本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。 2. 本文の内容に関連して，学習した語彙や言語材料，TOOL BOXの語句を用いて，自分の意見を話したり／書いたりしている。	1. 本文の内容を読み取り,概要や要点を把握しようとしている。 2. 本文の内容に関連して,学習した語彙や言語材料，TOOL BOXの語句を用いて,自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。

令和７年度シラバス　　（　　家庭基礎　　）

教　　科	家庭	単位数	2	学科・学年・組	工業技術科　2　年 A・B　組
使用教科書	Creative Living 家庭基礎で生活をつくろう(大修館)				
副 教 材 等	Creative Living 家庭基礎学習ノート(大修館)				

1　学習の到達目標

人の一生と家族、福祉、保育、衣生活、食生活、住生活、消費生活などに関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的態度を育てる。

2　科目の特色

家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために思考を深め、適切に判断・工夫・創造する能力を身につける。

3　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	1 生活のマネジメント 2 青年期の課題と自立 3 家族・家庭生活のマネジメント 4 子どもの生活と子育てのマネジメント	・自分自身の生き方について考える。 ・自立や生命に対する責任について理解する。 ・青年期をどのように生きたいかを考えて発表する。 ・家族、家庭の意義や機能について考える。 ・憲法や民法について理解する。 ・多様性の実現に向けてできることを考える。 ・命の誕生について理解する。 ・おやつ作りを通して、子どもの成長を知る。 ・調べ学習で乳幼児の特徴と現代の子育ての支援策を理解する。
二学期	5 高齢期の生活のマネジメント 6 共生社会をつくる 7 持続可能な社会をつくる 8 経済生活のマネジメント	・公的年金制度と介護保険制度について学ぶ。 ・保育人形を使い、抱き方などスキンシップの方法を学ぶ。 ・高齢者を支える家族の役割、福祉施設についてビデオ視聴しながら理解する。 ・社会保障について理解する。 ・共生社会の実現に向けてできることを考える。 ・自分の消費行動を見つめ直す。 ・SDGsの目標を理解し、目標達成に向けてできることを考える。 ・収入と支出のバランスを考える。 ・消費者トラブルと情報社会を生きるために必要な情報を、ビデオ視聴しながら理解する。
三学期	9 食生活のマネジメント 10 衣生活のマネジメント 11 住生活のマネジメント	・栄養素の種類と働きを食品見本で学習し、それぞれの栄養素を多く含む食品の特徴を理解する。 ・生鮮食品の選び方や保存の仕方を理解する。 ・調理実習を通して調理の基礎技術を身につけると共に食卓作法も理解する。 ・被服の機能を理解する。 ・衣服の購入、洗濯、保管について学び、環境に配慮した衣服計画を学ぶ。 ・現在に至るまでの住文化の変化を理解する。 ・防音、換気、化学物質、防災、防犯、メンテナンス等、快適な住環境について理解する。

4　課題、提出物等

・学習ノート　調理実習プリント

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などの基礎的なことについて理解し、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における問題を見いだし、課題の設定、解決策の構想、実践の評価・改善、考察したことを根拠に課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組み、自分や家庭、地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。

令和７年度シラバス　　（工業技術実習）

教　科	工　業	単位数	7	学科・学年	工業技術科　　２～４年
使用教科書	（なし）				
副教材等	プリント				

1　学習の到達目標

・ 電気、機械に関する基礎的技術の習得を目指します。
・ 工業の実習科目で必要な基本的振る舞いについて学習します。（安全等について）

2　科目の特色

・ ６～７名のグループを作り、３～４つのテーマについて学びます。
・ 少人数で各グループに専門知識をもった教員を配置しています。

3　学習の計画

	学　習　内　容	主な学習活動
	１年を通して３～４つのテーマについて学習をします。 グループでローテーションをしながらの内容になるので、グループによって受ける時期が異なります。	
	２年 ・旋盤１ ・アーク溶接 ・テスターの製作	・旋盤加工法の基礎を学びます。 円筒形の鉄から、円筒形ベースの作品を作ります。 ・電気を用いて火花を出し、鉄を溶かします。 ガス溶接よりも分厚い鉄板を溶接します。 ・テスターの製作を通して計測機器について学びます。
	３年 ・ＩＣＴプログラミング・電気工事 ・ＩＣ実習 ・シーケンス制御 ・旋盤２	・プログラムの原理を勉強しその動作法を学びます。 ・電気工事においての単線図を複線図に直す方法を学び、 実際に電気工作を行います。 ・ＩＣを利用して電気制御の基礎を学びます。 ・２年次に引き続き筒状の鉄をベースにした様々な 加工方法を学びます。
	４年 ・フライス盤 ・製図 ・ＣＡＤ	・主に四角の鉄を用いた加工法を学びます。 ・製図器具を用いた製図の作図を学びます。 ・ＣＡＤの基礎を学びます。

4　課題、提出物等

パートごとに課題作品を完成まで製作します。また、毎時間の授業内容を報告書に記載し、提出をします。

5　評価の観点

知識・技術　a	思考・判断・表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。さらに環境に配慮した、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	工業技術に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	工業技術に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

令和７年度　シラバス　　工業技術製図

教　科	工業	単位数	２	学科・学年	工業技術科　２年Ａ・Ｂ組
使用教科書	製図（実教出版）				
副 教 材 等	（なし）				

１　学習の到達目標

・製図用具を正しく使用し、線や文字、図形を美しく正しく書けるようになる。
・立体を平面上に正しく表現でき、また図面から立体を正しく把握できるようになる。

２　科目の特色

・機械製図についての基礎的な知識と技術を習得することができる。
・設計製作図面を正しく読み、製作品を構想できる能力を高めることができる。

３　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	製図の基礎	線・文字の練習からはじめ、平面図形のかきかた、立体を平面で表す方法や、品物の形状がわかる等角図やキャビネット図のかきかたの基本を学ぶ。 また、図形の表しかた・品物の内部の表しかた寸法記入方法について、基本的な知識を身に付ける。
二学期	製図の基礎 製図の応用	
三学期	製図の応用	平面図形や寸法記入、断面の表しかたの発展的な部分と、表面の粗さの状態の表しかたや許される誤差の大きさの表しかた、幾何公差について基本的な知識を学ぶ。

４　課題、提出物等

・毎授業ごとに授業プリント課題を提出します。

５　評価の観点

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成に関する基礎的･基本的な知識と技術を習得するとともに，各種機械や部品の製作に使用される図面等の役割や作図法，図面などを正しく読み，作成できる力を身につけている。	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成における諸問題を的確に把握し，考察を深めるとともに，機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。	各種機械や部品の製作に使用される図面などを作成することに興味・関心をもち，機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して，主体的に学習に取り組もうとしている。

以上について総合的に評価します。